

発行日 04-8-2015

## セクション1：製品および会社情報

### 製品特定名

製品名 7224 X 50 BLACK

### その他の識別手段

登録番号 情報なし。

### 化学薬品の推奨用途および使用制限 推奨される使用

プリンティングインク

### に対する使用の勧告

情報なし。

### 安全データシートの提供者の詳細

#### Manufacturer

## セクション2：危険有害性の要約

### Classification of the substance or mixture

急性毒性 - 経口		区分 4
急性毒性 - 吸入 (蒸気)		区分 2
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	MARKEM-IMAGE 2-19-7 Hatagaya	区分 1
呼吸器の感作	Shibuya, Tokyo 151-0072	区分 1
皮膚の感作	Japan	区分 1
発がん性	Phone: 050-8881-1680	区分 1A
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	Fax: 050-8881-1678	区分 2

#### Category 2

Bladder, nervous system, testes, lung, Central nervous system, Ears.

急性水生毒性	区分 2
慢性水生毒性	区分 2

### ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- H302 - 飲み込むと有害
- H315 - 皮膚刺激
- H318 - 重篤な眼の損傷
- H330 - 吸入すると生命に危険
- H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
- H350 - 発がんのおそれ
- H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
- H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

May cause damage to the following organs through prolonged or repeated exposure:Bladder, nervous system, testes, lung, Central nervous system, Ears.

#### **注意書き - 予防**

- 使用前に取扱説明書を入手すること
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- 指定された個人保護具を使用すること
- 取り扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- 保護手袋を着用すること
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- 環境への放出を避けること

#### **注意書き - 対応**

- 暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ただちに医師に連絡すること
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
- 吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること
- 口をすすぐこと
- 漏出物を回収すること

#### **注意書き - 保管**

- 施錠して保管すること

#### **注意書き - 廃棄**

- 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

#### **その他の情報**

該当せず

### セクション3： 組成および成分情報

化学特性 溶剤、ポリマー、色素及び添加剤からなる混合物。

化学名	重量%	化審法	安衛法	CAS番号
リン酸トリブチル	20 - 30	-	-	126-73-8
カーボンブラック	5 - 10	-	-	1333-86-4
ブタノール	5 - 10	-	-	71-36-3
無水ヘキサヒドロフタル酸	1 - 5	-	-	85-42-7
ホルムアルデヒド	< 1	-	-	50-00-0

### セクション4： 応急処置

一般的アドバイス	症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。粉じん/ ミストを吸入しないこと。眼に入れない、皮膚につけない、または衣服につけない。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動する。医師に相談する。呼吸が不規則であったりまったりした場合は、人口呼吸を行う。直接の接触を避ける。口対口の蘇生術にはバリアを使用すること。必要に応じて酸素または人工呼吸。緊急な医療処置は必要ない。蒸気を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	必要であれば医師に相談する。汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと水で洗浄します。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。直ちに多量の水で洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師を呼ぶ。直ちに石けんと多量の水で洗い流す。緊急な医療処置は必要ない。
目に入った場合	大量の水で直ちに洗浄します。最初の洗浄後、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分間、継続して洗浄します。リンス中は眼を大きく開ける。症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。
飲み込んだ場合	口内をゆすぐ。多量の水を飲む。症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。吐き出させない。水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけません。医師に相談する。
応急措置をする者の保護	個人保護装置を使用します。
最も重要な兆候及び症状	情報なし。
医師に対する特別注意事項	過敏な人では感作が起こることがあります。症状に応じた治療を行う。

### セクション5： 火災時の措置

引火特性	蒸気は火花や爆発を起すことがあります。蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。
消火剤	二酸化炭素 (CO2)、粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、水スプレー。

**使ってはならない消火剤** 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。

**化学物質による特定の危険有害性** 可燃物ではないが、裸火やその他発火源に曝されると爆発することがある。・ 燃焼により不快で有毒な煙霧が発生する。・ 流出液は水路を汚染することがある。・ 火災または強い熱によりパッケージが激しく破裂することがあります。・ この物質は水に浮くので火災の危険性が発生します。・ 熱分解により、刺激性のガスと蒸気が発生することがあります。・ 火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。・ 皮膚に接触したり飲み込むと感作が発生することがあります。

## セクション6： 漏出時の措置

**人体に対する注意事項** 個人保護装置を使用します。・ 十分な換気を確実にします。・ 付近の発火源となるものを速やかに取り除く。・ 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。・ 関係者以外は安全な場所に避難させる。・ こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。

**環境に対する注意事項** 水路、下水道、地階または密閉区域への侵入を防ぐ。・ 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。・ 製品を排水施設に流してはならない。・ 蒸気がたまと爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。

**封じ込めの手段** 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。

**除去方法** 個人保護装置を使用します。・ せき止める。・ こぼれた液体を砂、土、他の非可燃性吸収材で覆う。機械で取り上げて適切な容器に入れ、処分します。汚染表面全体を十分にきれいにする。・ 不活性な吸収材で吸収させる。・ 取り出して、正確なラベルのついた容器に移す。

**二次危険有害性の予防** 環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること

## セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

**取り扱い** 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。・ 保護具を着用する。・ 汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。・ 蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。・ この製品を使用中は、飲食せずまたタバコも吸わない。・ 適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。

**保管** 栓をしっかりと閉め、乾燥した換気の良い場所に保管する。・ 小児の手の届かないところに保管してください。・ 低温で、換気の良い場所で容器の栓をしっかりと閉めておく。・ 正確なラベルのついた容器に入れておく。

**混触禁止物質** 酸化剤に配合禁忌。・ 強酸およびアルカリとに配合禁忌。

## セクション8： 暴露防止および個人保護措置

### 暴露ガイドライン

化学名	日本産業衛生学会 (許容濃度)	Japan - ISHL Working Environment Evaluation Standards - Administrative Control Levels	ACGIH TLV
リン酸トリブチル 126-73-8			TWA: 5 mg/m <sup>3</sup> inhalable fraction and vapor
カーボンブラック 1333-86-4	TWA: 4 mg/m <sup>3</sup> TWA: 1 mg/m <sup>3</sup>		TWA: 3 mg/m <sup>3</sup> inhalable fraction

化学名	日本産業衛生学会 (許容濃度)	Japan - ISHL Working Environment Evaluation Standards - Administrative Control Levels	ACGIH TLV
ブタノール 71-36-3	Ceiling: 50 ppm Ceiling: 150 mg/m <sup>3</sup> Skin ISHL/ACL: 25 ppm	ISHL/ACL: 25 ppm	TWA: 20 ppm
無水ヘキサヒドロフタル酸 85-42-7			Ceiling: 0.005 mg/m <sup>3</sup> inhalable fraction and vapor
ホルムアルデヒド 50-00-0	Ceiling: 0.2 ppm Ceiling: 0.24 mg/m <sup>3</sup> TWA: 0.1 ppm TWA: 0.12 mg/m <sup>3</sup> ISHL/ACL: 0.1 ppm	ISHL/ACL: 0.1 ppm	Ceiling: 0.3 ppm

**設備対策**

換気が十分でない場合は、適切な呼吸装置を着用します。十分な換気を確実にします。作業場所の近辺に洗眼びんおよび安全シャワーを設けること。

**保護具****呼吸器用の保護具**

通常の使用では必要がない。換気が不十分な場合は、適切な呼吸装置を着用します。

**手の保護具**

Impervious gloves made from . ネオプレン。

**眼/顔面の保護**

密着性の高い安全ゴーグル。顔面シールド。

**皮膚及び身体の保護具**

長袖の衣服。耐薬品エプロン。軽量の保護服。エプロン。不浸透性手袋。

**適切な衛生対策**

飲食物から遠ざける。使用中は、飲食や喫煙をしないでください。汚染された衣服は、洗濯した後に再使用する。可能な限り適切な保護手段を使い、溶剤との接触を避けることは産業衛生上推奨される。装置、作業エリア、衣服の通常の洗浄。

**セクション9：物理的及び化学的特性****基本的な物理的及び化学的特性に関する情報**

物質の状態	液体		
物理的状态	情報なし。	臭い	特有
色	黒色	臭いの閾値	情報なし。

### セクション9： 物理的及び化学的特性

性質	値	所見/方法	
pH	NA	融点/凝固点	<<
		沸点・沸騰範囲	292° C /558° F
		引火点	116° C /241° F
空気中での可燃性限界			
可燃性上限	11.2		
可燃性下限	1.4%		
蒸気圧	情報なし		
水溶性	水に非溶解性	発火点	260° C /500° F
Solubility in other solvents	情報なし。	分解温度	情報なし。
		動粘性率	利用可能な情報はない
		動的粘度	ND
酸化特性	情報なし。		
その他の情報			
軟化点	情報なし。		
水溶性	水に非溶解性		
n-オクタノール/水分配係数	適切なデータ無		

### セクション10： 安定性及び反応性

反応性	
安定性	通常の状態では安定。
爆発に関するデータ	
機械的なインパクトに対して敏感なし	
静電気放電に敏感である	なし
反応性	危険な重合はおこらない。
避けるべき条件	炎、熱および発火源から遠ざける。
混触禁止物質	酸化剤に配合禁忌。 強酸およびアルカリとに配合禁忌。
危険有害な分解生成物	二酸化炭素 (CO2) 一酸化炭素 リン化合物 燃焼により刺激性の煙霧が発生する。

### セクション11： 有害性情報

曝露の主経路	付着 吸入した場合 飲み込んだ場合 吸収/脱着 吸入した場合 皮膚に付着した場合 目に入った場合
--------	--

## セクション11： 有害性情報

### 目標臓器効果

眼 皮膚 呼吸器官 肺 血液 腎臓 中枢神経系 リンパ系 呼吸器官

### 急性毒性

眼  
皮膚  
吸入  
飲み込んだ場合

眼に対して重い炎症を起こす 炎症を起こすことがある 眼を刺激する。  
皮膚に接触すると多分有害。皮膚を刺激する。炎症を起こすことがある。  
強い呼吸刺激性物質 吸入すると有害のおそれ。呼吸気道に刺激を起すことがある。  
「吸入」に記載のある通り、追加の影響が起こることがある。飲み込むと有害。飲み込むと、粘膜に刺激がおこる。

### 慢性毒性・長期毒性

骨髄や造血系に有害反応が起こることがある 繰り返した接触により、敏感な人ではアレルギー反応が起こることがあります。繰り返す曝露を避けます。

### 悪化する病状

中枢神経系 事前に存在する眼の障害 血液疾患 腎臓疾患 皮膚疾患 呼吸疾患 リンパ系 肺 アレルギー

### 発がん性

下の表はそれぞれの機関が成分を発がん性と認めたかを示している この物質はIARCによればヒトでの発がん性があると分類された物質（グループ1）、恐らくヒトでの発がん性がある物質（グループ2A）、ヒトでの発がん性がある可能性がある（グループ2B）を1以上含んでいる

化学名	日本産業衛生学会	IARC	ACGIH
リン酸トリブチル			A3
カーボンブラック	Group 2B	Group 2B	A3
ホルムアルデヒド	Group 2A	Group 1	A2

## セクション12： 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物に有害。

### 急性水生毒性

化学名	CAS番号	急性水生毒性
リン酸トリブチル	126-73-8	0
カーボンブラック	1333-86-4	0
ブタノール	71-36-3	0
無水ヘキサヒドロフタル酸	85-42-7	0
ホルムアルデヒド	50-00-0	0

化学名	藻類に対する毒性	魚毒性	微生物に対する毒性	Daphnia magna (オオミジンコ)
リン酸トリブチル	1.1: 72 h <i>Desmodesmus subspicatus</i> mg/L EC50 4.4: 96 h <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> mg/L EC50	1.0 - 10.0: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50 static 7.66 - 8.74: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50 flow-through 13: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss</i> mg/L LC50 flow-through 4.2: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss</i> mg/L LC50 static 4.5: 96 h <i>Oryzias latipes</i> mg/L LC50 8.18: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50 9.6: 96 h <i>Oryzias latipes</i> mg/L LC50 static		1.58 - 8.43: 48 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50 Static
カーボンブラック				5600: 24 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50
ブタノール	500: 72 h <i>Desmodesmus subspicatus</i> mg/L EC50 500: 96 h <i>Desmodesmus subspicatus</i> mg/L EC50	100000 - 500000: 96 h <i>Lepomis macrochirus</i> ♀ g/L LC50 static 1730 - 1910: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50 static 1740: 96 h <i>Pimephales promelas</i> mg/L LC50 flow-through 1910000: 96 h <i>Pimephales promelas</i> ♀ g/L LC50 static		1897 - 2072: 48 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50 Static 1983: 48 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50
無水ヘキサヒドロフタル酸	95.6: 72 h <i>Desmodesmus subspicatus</i> mg/L EC50	660: 48 h <i>Leuciscus idus</i> mg/L LC50 static		103: 24 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50



ホルムアルデヒド	0.032 - 0.226: 96 h Oncorhynchus mykiss mL/L LC50 flow-through 100 - 136: 96 h Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 static 22.6 - 25.7: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 flow-through 23.2 - 29.7: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 static 1510: 96 h Lepomis macrochirus mg/L LC50 static 41: 96 h Brachydanio rerio mg/L LC50 static	11.3 - 18: 48 h Daphnia magna mg/L EC50 Static 2: 48 h Daphnia magna mg/L LC50
----------	---	---

## GHS分類 慢性水生毒性

化学名	CAS番号	慢性水生毒性データ
リン酸トリブチル	126-73-8	0

残留性/分解性  
生体蓄積性  
移動性  
他の環境情報

本製品自体のデータはない。  
生物蓄積の可能性  
製品は不溶性で水に沈みます。  
情報なし。

## セクション13： 廃棄上の注意

残余廃棄物

現地の規定に従処分します。

## セクション14： 輸送上の注意

IMDG/IMO

規定されていません

ADR

規定されていません

IATA

規定されていません

国連番号  
危害要因クラス  
包装等級 (PG)

UN3082  
  
III

## セクション15： 適用法令

## セクション15：適用法令

### 消防法:

第4類（引火性液体） 第三石油類 水溶性液体 指定数量 4, 000L

### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

化審法 特定化学物質

### 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）

化学名	CAS番号	重量%	第1種指定化学物質
リン酸トリブチル	126-73-8	20 - 30	462
ホルムアルデヒド	50-00-0	< 1	411

### 労働安全衛生法

労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則

化学名	CAS番号	重量%	有機溶剤中毒予防規則
ブタノール	71-36-3	5 - 10	Listed

### 危険物・引火性の物

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法57条1、施行令第18条）

化学名	CAS番号	重量%	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法57条1）
ブタノール	71-36-3	5 - 10	Listed
ホルムアルデヒド	50-00-0	< 1	Listed

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）

化学名	CAS番号	重量%	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条2）
リン酸トリブチル	126-73-8	20 - 30	>1%
カーボンブラック	1333-86-4	5 - 10	>0.1%
ブタノール	71-36-3	5 - 10	>0.1%
ホルムアルデヒド	50-00-0	< 1	>0.1%

### 毒物及び劇物取締法

毒物(Poisonous)/劇物 (Deleterious), 適用濃度%

化学名	CAS番号	重量%	毒物(Poisonous)/劇物 (Deleterious), 適用濃度%
-----	-------	-----	---------------------------------------

---

ホルムアルデヒド	50-00-0	< 1	Deleterious (>1%) Deleterious (100%)
----------	---------	-----	---

**セクション16：その他の情報**

発行日 04-8-2015

改定メモ  
情報なし。

Key or legend to abbreviations and acronyms used in the safety data sheet  
Not applicable

以上